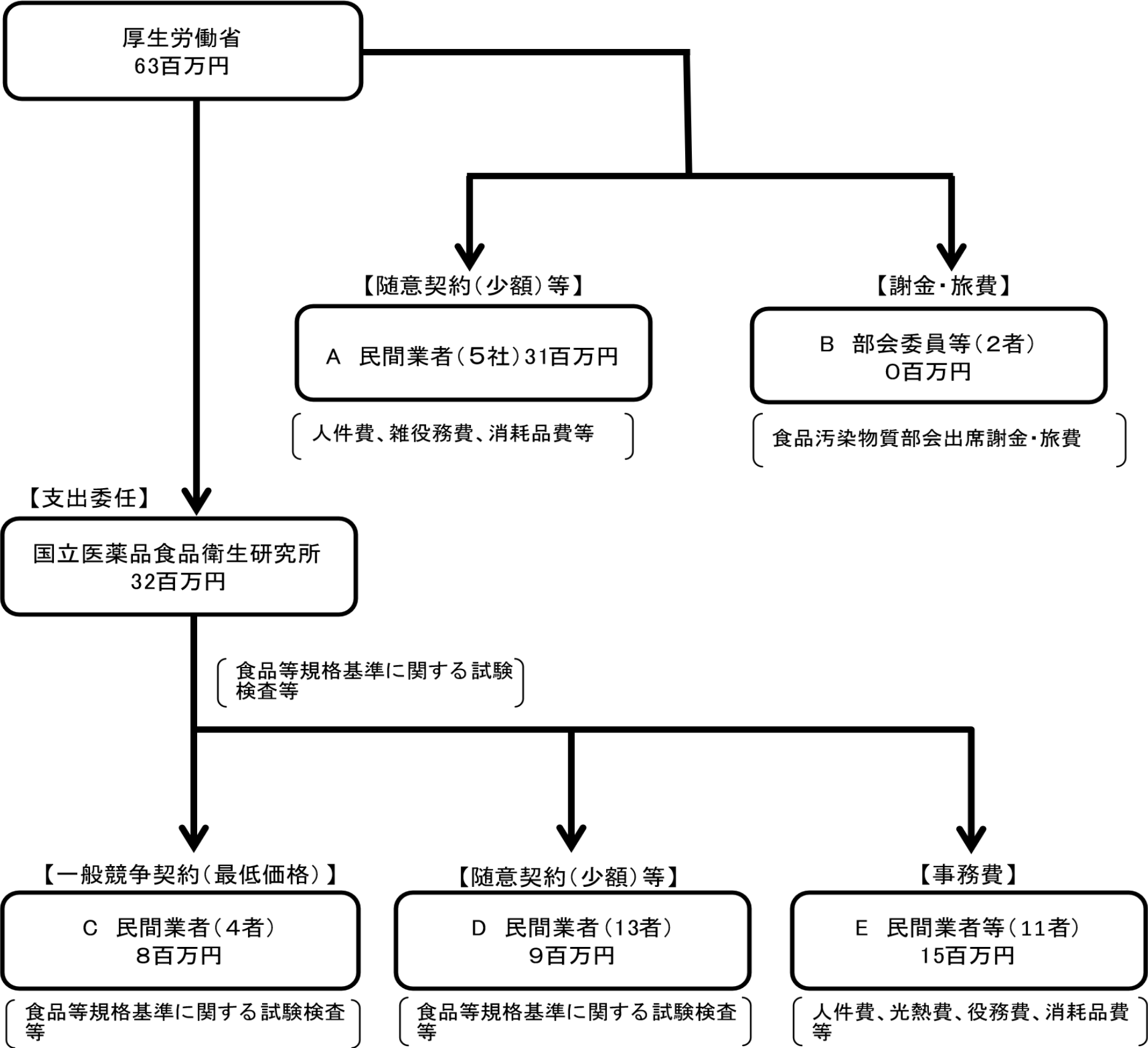


	令和5年度行政事業レビューシート					(消費者庁)	
事業名	食品汚染物質の安全性検証推進事業			担当部局庁	健康・生活衛生局(厚生労働省)		作成責任者
事業開始年度	平成16年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	食品基準審査課(厚生労働省) 消費者安全課(消費者庁)		課長 近藤 恵美子
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	食品衛生法第13条			関係する 計画、通知等	-		
政策	食品等の安全性を確保すること(施策大目標Ⅱ-1)			主要経費	その他の事項経費		
施策	食品等の飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止すること(施策目標Ⅱ-1-1)						
政策体系・評価書URL	https://www.mhlw.go.jp/wp/seisaku/hyouka/dl/r03_jizenbunseki/II-1-1.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	食品中の汚染物質(重金属、かび毒等)における精密な暴露状況を把握し、個人によって摂取頻度の異なることに着目した安全性を検証し、今後のリスク低減のための方策(摂食指導、基準値の設定及び見直し)を講じる際の基礎データを得ることにより食品の安全性を確保する。						
現状・課題 (5行程度以内)	食品中の汚染物質の規格基準の設定にあたっては、コーデックス委員会(食品の国際規格を策定しているFAOとWHOの合同機関)が策定している食品について、我が国でも規格基準の設定を検討することとし、原則、コーデックス規格を採用することとしている。具体的には我が国の規格基準を設定する際には、国内に流通する食品中の汚染物質の汚染実態及び国民の食品摂取量等を踏まえた消費者の健康リスクに基づくと共に、合理的に達成可能な範囲で、できる限り低くするとの考え方を基に検討する必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	令和6年度、厚生労働省から消費者庁へ食品衛生基準行政を移管することに伴い、予算計上府省庁を変更した。個人によって摂取頻度の異なる食品について、一定期間内の摂取実態調査を実施し、精密な汚染物質の暴露量を推定する。また、食品中の汚染物質(重金属、かび毒等)は通常の環境中に広く存在していることから、広範囲の食品について、汚染物質の含有濃度実態調査を実施する。						
事業概要URL	-						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	93	93	76	76	77
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
	予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	93	93	76	76	77	
	執行額(G)		78	82	63		
	執行率(%) =(G)/(F)		84%	88%	83%		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		84%	88%	83%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)		食品等安全確保対策費		単価の修正に伴う増 令和6年4月より厚生労働省から消費者庁へ食品衛生基準行政を移管することに伴い、(項)を変更して要求。 なお、令和5年度以前の予算の執行等は、移管元である厚生労働省において実施。		
		(目)	食品等試験検査費	75			
		(目)	職員旅費	0.5			
		(目)	庁費	0.2			
		(目)	委員等旅費	0.2			
		(目)	諸謝金	0.1			
	(項)		消費者政策費				
		(目)	食品等試験検査費	76			
		(目)	職員旅費	0.5			
		(目)	庁費	0.3			
			その他	0.2			
	計(A)		76	77			

活動内容① (アクティビティ)		食品中の汚染物質(重金属、かび毒等)は通常の環境中に広く存在していることから、広範囲の食品について、汚染物質の含有濃度実態調査を実施し、その結果から、国民の汚染物質へのばく露量を推計し、適宜規格基準の設定・改正に活用する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		国民の食品中の汚染物質への規制と対策の理解醸成を推進	食品汚染物質の実態調査(対象物質数)	活動実績	物質	4	6	6	－	－
				当初見込み	物質	6	6	6	3	6
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	国内に流通する食品中の汚染物質の含有実態を基に国民の汚染物質へのばく露評価を実施し、規格基準を設定又は改正することにより、国民の食品への安心・安全を確保することができる。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 － 年度	
		汚染実態調査において、優先すべき食品の種類及び汚染物質の種類を年度ごとに見直す。	－	成果実績	－	－	－	－	－	
				目標値	－	－	－	－	－	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		これまでに実施した汚染実態調査結果を踏まえ、令和4年度の薬事・食品衛生審議会食品規格部会において、ミネラルウォーター中の鉛の基準値改正にかかる審議資料に活用した。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティである汚染物質の含有濃度実態調査の結果から国民の汚染物質へのばく露量を推計し、適宜規格基準の設定・改正に活用することがより効果的な制度見直しにどのように反映されたかは、定量的な評価になじまないため。								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		アクティビティである汚染物質の含有濃度実態調査の結果から国民の汚染物質へのばく露量を推計し、適宜規格基準の設定・改正に活用することが、最終目標である、汚染実態調査における優先すべき食品の種類及び汚染物質の種類を年度ごとに見直すことに直接結びつくため。								
活動内容② (アクティビティ)		食品中の汚染物質の含有実態調査にかかる汚染物質の含有濃度測定及び汚染物質の規格基準への適否を検査するための試験法検討を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		食品汚染物質の規格基準への適合性判断を確保	食品汚染物質の試験法検討(対象物質数)	活動実績	物質	3	0	0	－	－
				当初見込み	物質	1	0	0	1	1
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	国内に流通する食品中の汚染物質の含有濃度及び規格基準への適合性を判断するために開発した試験法を自治体、検疫所、及び民間の検査機関に周知し、国内に流通する食品が適切な試験方法により検査されて流通できる体制となり、国民の食品への安心・安全を確保することができる。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 － 年度	
		国内外での汚染実態情報及び規格基準設定の動向を踏まえ、優先的に国内の規格基準の設定又は改正すべき食品中の汚染物質の試験法を年度ごとに検討する。	－	成果実績	－	－	－	－	－	
				目標値	－	－	－	－	－	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		これまでに実施した食品中の汚染物質の規格基準への適合性判断を確保するための試験法検討結果を踏まえ、薬事・食品衛生審議会食品規格部会の審議資料として活用した。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティである試験法の検討が、より効果的な制度見直しにどのように反映されたかは、定量的な評価になじまないため。								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		アクティビティである試験法の検討が、最終目標である優先的に国内の規格基準の設定又は改正すべき食品中の汚染物質の試験法を年度ごとに検討することに直接結びつくため。								

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金
額が支出されている者につ
いて記載する。費目と
使途の双方で実情が分
かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	給与・賞与	30	-	-	-
計		30	計		0
C.			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務	試験研究業務等のための人材派遣業務	5.4	備品類	容量可変型オートインジェクター・ピペット・キット～ 1点 ほか2件	1.3
			雑役務	Iclass点検作業 1式 ほか2件	1.2
計		5.4	計		2.5
E.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
電気料	電気使用料	3.4			
計		3.4	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	資金前譲官吏	-	給与・賞与	30	随意契約(少額)	-	100%	-
2	個人A	-	食品中の汚染物質の基準値 設定に係る業務一式	0.9	随意契約(少額)	-	100%	-
3	独立行政法人国立印刷局	6010405003434	表彰状用紙の作成	0.1	随意契約(少額)	-	100%	-
4	有限会社タケマエ	3010002049767	紙筒(5×36) 83本	0	随意契約(少額)	-	100%	-
5	富士フイルムビジネスイノ ベーションジャパン株式会社	1011101015050	カラー複合機の保守	0	その他	-	100%	-

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	謝金1件	0	その他	-	-	-
2	個人B	-	旅費1件	0	その他	-	-	-

C

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	パーソルテンプスタッフ株式 会社	1011001015010	試験研究業務等のための人 材派遣業務	5.4	一般競争契約 (最低価格)	6	89%	-
2	宮崎化学薬品株式会社	3011401006210	デジタルPCR装置 一式	2.2	一般競争契約 (最低価格)	2	99.4%	-
3	株式会社東機システムサービ ス	3010401019131	パソコン 18台	0.3	一般競争契約 (最低価格)	2	91.3%	-
4	株式会社鈴木商館	3011401003348	研究に使用する液体窒素等 の購入 一式 ほか1件	0.1	一般競争契約 (最低価格)	3	79.1%	-

D

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社池田理化	3010001010696	iclass点検作業 1式 ほか5 件	2.5	随意契約(少額)	-	100%	-
2	株式会社バイオテック・ラボ	5010601020795	Flow Cell Wash Kit 1点 外2点 ほか8件	2.4	随意契約(少額)	-	100%	-
3	パーソルテンプスタッフ株式 会社	1011001015010	試験研究業務等のための人 材派遣業務	1	随意契約(少額)	-	100%	-
4	公益社団法人日本食品衛生 協会	3011005000122	微生物生存性評価に係る妥 当性試験	1	随意契約(少額)	-	100%	-
5	尾崎理化株式会社	2021001016122	CoolBox 2XT Workstation グリーン 1点 外2点 ほか8件	0.8	随意契約(少額)	-	100%	-
6	株式会社伊藤サプライ	2010901001143	エレコム SDXCカード MF-FS06 4GU11R 2点 外5点 ほか4件	0.2	随意契約(少額)	-	100%	-
7	株式会社カラサワ	6013201001504	Windowsノートパソコン HP P roBook 450 G9/CT 1点	0.2	随意契約(少額)	-	100%	-
8	株式会社翻訳センター	1120001089458	Mirai Translator ライセン ス 1式	0.1	随意契約(少額)	-	100%	-
9	中央法規出版株式会社	1200001003377	食品衛生関係法規集追録 630 -632号 24点 ほか1件	0.1	随意契約(少額)	-	100%	-
10	株式会社トキワ薬品化工	3020001058388	特別管理産業廃棄物(感染性 廃棄物)処理 一式	0.1	随意契約(少額)	-	100%	-

